

### 3 ヒシクイ

(カモ目)

兵庫県ランク: B

*Anser fabalis*

繁殖個体群:無 越冬個体群:B 通過個体群:B

◎天然記念物

環境省ランク: VU

#### 種の概要

ヨーロッパ北部からシベリア、カムチャツカなどのツンドラ地帯とタイガ地帯で繁殖する。繁殖後は温帯域に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、主に東北地方や日本海側の湖沼で越冬する。四国、九州、沖縄にも不定期に渡来し越冬する。見通しのよい湖沼や干潟、河川、沼沢地、水田などに生息し、収穫後の稲株から生えてくる再生稈や泥中に生えるマコモの根茎部、ヒシの実を好んで採食する。

#### 国内分布

北海道、南千島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、四国、九州、対馬、壱岐、五島列島、伊豆諸島、小笠原群島、奄美諸島、琉球諸島



写真提供：北野光良

(性別：不明)

#### 県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、明石市、西宮市、洲本市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、★小野市、★加西市、加東市、稲美町、★神河町

#### 主要な選定理由

| 影響の人為性    |           |                  |               | 生態の脆弱性<br>(特殊性) |                |                | 学術上の<br>希少性                |               |        |
|-----------|-----------|------------------|---------------|-----------------|----------------|----------------|----------------------------|---------------|--------|
| 個体数<br>激減 | 分布域<br>激減 | 餌の<br>可用性<br>の低下 | 特殊<br>競争<br>圧 | 特殊<br>捕食<br>圧   | 特殊<br>繁殖<br>環境 | 特殊<br>採餌<br>環境 | ねぐ<br>特殊<br>ら休<br>息環<br>境・ | 局<br>地的<br>繁殖 | 希<br>少 |
| ○         | ○         | ○                |               |                 |                | ○              |                            |               | ○      |

#### 県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では古くは10月下旬から翌4月に生息していたが、最近では10月下旬から翌2月となっている。かつては小野市鴨池で100-200羽、伊丹市昆陽池で50-60羽が毎年越冬していた。1950年には西宮沖で300羽、1960年には神戸市街地上空を200羽の群れが通過するのが観察されている。1960年代に急減し、一時全く姿が見られなくなっていたが、最近、但馬地域と播磨地域の河川敷やため池に、ほぼ定期的に数十羽が渡来し越冬するようになっている。

#### 保護上の留意点

広い採食場所とねぐらの保全が重要。そのために稲刈り後の水田の一部を冬季そのまま残し、ねぐらとなる池や河川には人が入れないように立ち入りを制限することが必要。